

学校名

狭山市立広瀬小学校

本校児童会生徒会は、「さやまっ子の誓い」を

承認します・承認しません。

本校のいじめ防止に関する実践

○児童会のめあて(スローガン)

年度初めに、代表委員会で「こんな学校にしたい」という思いのもと、話し合い決定している。今年度は「元気よく 笑顔であいさつ 広せっ子」となった。



<スローガン実現のための方策>

- ① ポスター掲示 → 委員会児童が作成し、各クラスに掲示してもらった。
- ② 児童朝会 → 劇とクイズ、「あいさつの歌」の歌とダンスを行った。コロナの影響で動画視聴、各クラスでダンスとなったが、取り組み後の振り返りで、ダンスの練習に楽しく取り組んだり、あいさつが増えたことを実感したり、肯定的な意見が多く見られた。互いに仲良く活動することにつながっていた。
- ③ あいさつ運動(赤い羽根共同募金) → 2学期に赤い羽根共同募金と兼ねて行った。



明るく笑顔で目を合わせながら、気持ちのよいあいさつのお手本となることを目標に取り組んでいた。あいさつを返してくれる子、笑顔が増え、代表委員の児童の自信にもつながっていた。(3学期も行う予定だったが中止)

○縦割り活動(わくわくグループ)

6年団(1・4・6年)と5年団(2・3・5年)の縦割りグループで活動を行っている。5年生と6年生は、全員がリーダーという意識をもって取り組み、下級生は協力しながら、お手本として憧れのまなざしで見ている。

- ① わくわく遊び → 例年は学期に2~3回、水曜日のロング昼休みに行っている。リーダーたちが相談して遊びを決定し、グループで遊ぶ。「みんなが楽しい」方法を考えながら、トラブルがあっても担当教師と相談し、上級生は下級生のことを考えて行動し、下級生は対処法を学んでいくよい活動となっていた。(今年度は実施せず)

- ② 広小まつり → グループごとに校内の各教室や体育館でお店を開き、前・後半で交代してお店を回る。今年度は「広げよう みんなの力で 笑顔の輪」をおまつりのスローガンに掲げ（代表委員会で決定）、コロナ対策に気をつけて実施。一人一人が自分の役割に一生懸命に取り組み、認め合い、仲よく遊び、自己肯定感の向上へとつながっていた。

○各クラスで「いじめ防止」についての話し合い(学活1・2)

各クラスで「さやまっ子の誓い」を教室に掲示し、話し合いの時間を持つ。決めたことを実践し、継続的に観察・振り返り・見届けを行う。毎年、人権週間の時期に、人権作文や標語に取り組むとともに、道徳・学級活動の時間を活用して「いじめ防止」について話し合っている。実態を確認し合ったり、毎日の生活を振り返ったりして、クラスや各自の指針を確認する機会となっている。

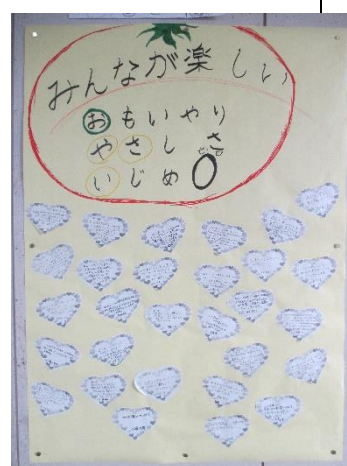
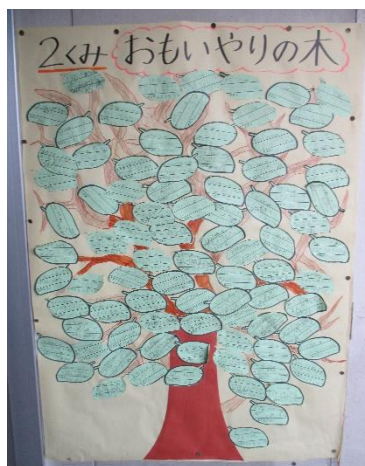
<決まったことの例>

① 「思いやりの木」の掲示

→ 友達にしてもらったうれしいことを葉っぱのカードに書いて貼っていき、「うれしいの森」にする。

② 「個人のめあて」の掲示

→ ・クラスのために自分ができること
・いじめはしない！ゆるさない！させない！
・いじめゼロ宣言



③ クラスのルール作り

→ ・いじめ防止の○組ルール…3つのしない（悪口・からかい、あおり、無視）
・いじめの度合い○組ルール…何がいじめになるのか、人によって感じ方が違う。だから、「相手が嫌だと思うことは絶対にしない」「嫌だと言えるクラスにしよう！」

④ 「心のふせん」

→ 一日を振り返って、「うれしい」「気持ちいい」「ほっとする」ことをふせんに書き、自分の連絡帳に貼ってためていく。